

## 各看護学実習

### 実習科目・時期・実習目的・単位・時間数・実習場所

実習科目	時期	実習目的	単位数	時間数	実習場所
基礎看護学実習 I part I part II	1年次後期	入院している対象との関わりを通して療養環境の理解と看護への関心を深め、看護者としての意識を高める	2	90 I (36) II (54)	帯広協会病院
基礎看護学実習 II	2年次前期	入院している対象を理解し、対象に応じた看護過程を展開する基礎的能力を身につける	2	90	帯広協会病院
小児看護学実習 I	2年次前期	健康な子どもの日常生活行動の実際を保育活動を通して知り、その子らしさが発揮できるように成長・発達の特徴を把握し、基本的生活習慣の確立に向けた支援を理解する。	1	45	帯広市保育所
老年看護学実習 サービス実習	2年次後期	看護の対象である高齢者を生活者としてとらえ、地域で生きる高齢者の健康と、地域で生きることを支えるための社会資源、サービスの実地を知り、あらゆる場において可能な限りQOLを維持しながら生きることを支えられるよう、生活の連続性をイメージした看護実践につなげる	1	45	デイサービスセンター
地域在宅看護論実習 I	2年次後期	看護の場の多様性と継続性を学び、在宅療養生活に対する看護の機能と役割や訪問看護ステーションが地域でどのような役割を担っているかを理解する	1	45	訪問看護ステーション
成人老年看護学実習 I II	2年次後期	成人・老年看護学および関連領域で学んだ知識技術・態度を統合し、対象の特徴・健康レベルに応じた看護を実践する力を身につける。	2	90	帯広協会病院
			2	90	
成人老年看護学実習 III	3年次	成人・老年看護学および関連領域で学んだ知識技術・態度を統合し、対象の特徴・健康レベルに応じた看護を実践する力を身に着ける。保健医療福祉チームの一員として、その人らしい「生」を保つために必要な家族、社会資源の活用及び多職種との連携を理解し、個別性のある看護に活かす力を身につける。	2	90	帯広協会病院
地域在宅看護論実習 II	3年次	訪問看護ステーションでの療養者を受け持つ実習を通して、地域で生活する在宅療養者とその家族の理解を深め、必要な看護を考え実践する	2	90	訪問看護ステーション

実習科目	時期	実習目的	単位数	時間数	実習場所
地域・在宅看護実習Ⅲ	3年次	<p>・市の保健福祉センターの保健事業の実習を通して、健康維持・増進、介護予防を目的とした多様な活動を知り、地域の健康を考える。</p> <p>・地域包括支援センターの実習を通して、地域の総合相談窓口の設置目的・機能・役割を理解し、利用者や家族の自立・自律に向けた生活支援の実際、地域包括ケアシステムと多職種連携・調整の実際を学ぶ。</p> <p>・病院内の患者支援センターの実習を通して、退院支援、退院調整が必要とされる対象に対し、地域の多様な社会資源の必要性を学ぶと共に多職種のケアチームやネットワークを含めたケアシステムの必要性を学ぶ。</p> <p>・指定障がい者支援施設の実習を通して、成人を対象とした障がい者支援施設での利用者の生活を支える機能・役割を理解し、多様な健康状態にある人々を支える活動内容の実際を学ぶ。</p>	1	45	病院、保健福祉センター、地域包括支援センター、指定障がい者支援施設
小児看護学実習Ⅱ	3年次	入院している子どもと家族の状況に応じた看護を通し、その子らしく生活ができるよう、疾患・治療の理解とその時々との状況と状況にあった看護が実践できる能力を習得する。	1	45	帯広協会病院
母性看護学実習	3年次	妊娠・分娩・産褥期の対象と新生児、およびその家族を理解し、次世代が健康に生まれ育つために、対象のその人らしさや持てる力を活かし、親になる過程および家族適応にむけた看護が実践できる能力を身につける	2	90	帯広協会病院
精神看護学実習	3年次	精神看護及び関連領域で学んだ知識・技術・態度を統合し、地域で生活する精神的に危機や障がいを持つ対象への理解を深め、精神科病棟入院中に必要な援助を理解する。	2	90	北海道立緑ヶ丘病院
看護の実践と統合実習	3年次	専門職業人として、地域医療に貢献できる看護師になれるよう、多職種と連携・協働しながら既習の知識と技術と態度を統合して実践できる能力を修得する。	2	90	帯広協会病院